

熊歯技広報

平成29年11月1日発行 第112号

発行所

一般社団法人 熊本県歯科技工士会
〒861-2118
熊本市東区花立2丁目16-31鞆永ビル3F 2号
TEL 096-360-9080
メールアドレス: kuma.kengi@gmail.com
ホームページ: <http://kumakengi.net/>

知事表彰祝賀会

平成29年7月22日(土)

7月22日に三島監事の知事表彰を祝う祝賀会が開催されました。他団体では祝賀会をしない所もあるようですが、本会ではこういったお祝いをやる事で、普段なかなか会う機会のない会員同士の親睦を図るという目的もあります。趣旨をご理解の上、次に何かある時には是非ともご参加ください。

三島氏は歯科技工士有資格者ですが、今は議員としての身分があります。今後大臣表彰そして叙勲と経歴を重ね、市議としての立場をより強固なものにしていただきたいと思います。



女性歯科技工士セミナー

平成29年9月10日(土) 福岡市アクア博多

去る、9月10日(日)に福岡市のアクア博多で開催された日技主催の『女性歯科技工士セミナー』に宗像、上村、中村の3名で参加してきました。

講師は、大阪府技山下茂子先生、北海道技の藤王千春先生のお二方でした。

内容といたしましては、女性歯科技工士と女性歯科技工士を雇用している、もしくは雇用を考えているラボや歯科医院の為に物が主でした。近年、技工学校の女子学生の比率が高くなり、必然的にこの業界も女性歯科技工士が多くなってきています。今迄、ほぼ男性社会であったこの業界も、今のままでは成り立っていかなくなります。講演の女性歯科技工士活躍の為に設備や就業システム。また、女性歯科技工士自身のライフステージからのライフスタイルの例など、有意義な講演でした。



懇親会にも参加し、他県の方々とも交流を深めてきました。本来ならこのセミナーの講師陣には、当会の徳永恵美子さんも入っているのですが、当日はお仕事の都合で講演は叶いませんでした。他の会場では講演されるとの事ですので、今回参加出来なかった方は他会場へ足を運ばれてはいかがでしょうか。これからの業務運営など、参考になると思います。

熊本県歯科技工士会専務理事 中村仁志

平成29年度熊本市三歯会開催報告

平成29年9月13日水曜日 午後7時半～
熊本県歯科医師会館3階会議室

平成29年9月13日水曜日午後7時半より熊本県歯科医師会館3階会議室において上記の会議が開催されました。熊本市歯科医師会会長宮本格尚氏、熊本市歯科技工士会会長玉置泰伸氏、熊本県歯科衛生士会熊本市支部長天野富子氏それぞれ挨拶の後、各会の報告がなされました。



出席者は歯科医師会12名、技工士会3名（会長ほか吉村副会長、宗像監事）、衛生士会5名でした。歯科医師会からは熊本市による歯科保健推進条例制定の進捗状況がなされ、現在自民党市議団に陳情している旨報告があり、とくに三島良之議員の後押しがあれば早く進むと話された。また10月21日に熊本駅前の森都心ビルにおいて『全国むし歯予防大会』が開催されるため、多数の参加者をお願いしますとの事でした。それから、熊本市ではフッ素洗口が9校で行われている旨報告がありました。

技工士会からは、10月の研修バス旅行、11月のスポーツ大会のこと、また技工士の高齢化により東京圏、近畿圏など義歯を製作する方が減ってきている事が報告されました。衛生士会からは、地域でのまた、小学校での歯みがき巡回指導、スキルアップ研修会、仮設住宅での支援事業などの報告がありました。

その後、三歯会の今後のあり方について協議し、会員不足の解消、高齢化に向けての対策が話し合われました。衛生士会より、市役員の先生方の医院に未加入の衛生士の方がいれば、訪問して加入を勧めますとの意見が出て、先生方の協力をお願いしました。その他の項目で、市民向けに歯科の合同講演会を開催したらどうかとの意見がありました。会議が終わり、懇親会で親睦を図り終了いたしました。

副会長 宗像篤志

日本歯科技工士会主催 入れ歯感謝デー見学

平成29年10月8日(日)東京都江東区文化センター

10月8日(日)熊本支部では、会長玉置氏、副会長吉村氏、監事宗像氏3名で、東京都江東区文化センターで開催されます【入れ歯感謝デー】に参加してきました。

目的として、支部で行われる健康フェスタ等各種イベントの新しい企画などを導入するためです。午前10時に開会式、「ははは川柳」入選作品発表、講演会「超高齢社会における歯科技工士の役割」日技役員3名、午後1時より「お口元気で“フレイル”(活力低下)を予防しよう！」日本歯科衛生士会会長武井典子氏、「知ってほしい僕たちのこと一歯と入れ歯の話」日本歯科大学大学院生命歯学研究科教授菊谷武氏、終了後講演者によるトークセッションがありました。その他歯科技工士学校のパンフレットなどの展示、お子様向けアトラクション<お口クルクル、バルーンアート>、入れ歯展示コーナーがありました。





ははは川柳特選に、
 「きれいな歯 見せたく笑顔 多くなり」が選ばれ、
 その他
 「歯も友も 無くしてわかる 有難み」、
 「しっくりと こない入れ歯と 夫婦仲」
 「こうなるぞ 入れ歯外して 孫おどす」
 などが選ばれました。今回のイベントは、講演会
 が中心であり、社会に対し歯科技工士の重要性
 のアピール、歯科衛生士会の年齢を重ねても歯
 の重要性、フレイルの予防、お口の元気検査で
 (口のまわりの力)(かむ力)(飲み込む力)(お口
 全体の清潔な力)心身の機能を高めて過ごすこと。
 菊谷教授は、高齢者のセメント質からの根面う蝕
 等の説明があり、また新規義歯作製数の推移は

この5年間で急激に減少していることを説明されました。高齢者の方々は、日常生活で楽しいことは第1位に
 食事となっています。会場には、高齢者の方々が展示してある補綴物に対し色々聞いておられ又、講演者に
 質問していました。熊本市三歯会では、市民向けに講演を開催したらという意見が出ていますので色々参考
 になりました。

宗像 篤志



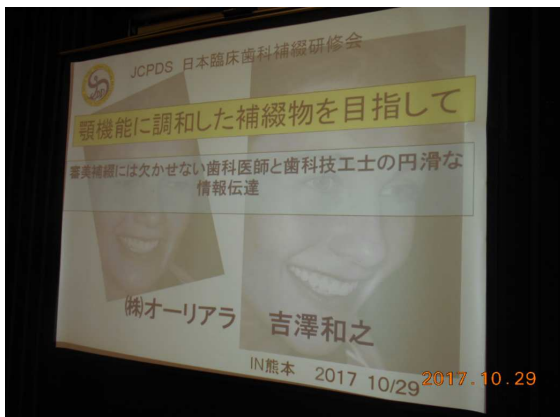
JCPDS特別講演会in熊本《生涯研修5単位》開催

平成29年10月29日(日) 10:00～

10月29日(日曜日)午前10時より、熊本城入口の桜の馬場城彩苑多目的交流室において、“顎機能に
 調和した補綴物を目指して”歯科医師と歯科技工士の共有すべき基本テクニックを題材に5人の講師による
 講演会が開催されました。会員16名その他歯科医師3名含め15名が参加されました。



午前中に星久雄氏(新潟県技)が「顎機能に調和した補綴物を目指して」と題し、総義歯、機能的ワックスアップ、パーシャルデンチャーの設計の要点を又、森野隆氏(静岡県技)が、「咬合器ハンドリング」バーチャル技工にも応用できるプロアーチ咬合器の実践的活用法をお話しされました。この咬合器はCAD/CAMを使用する時ほとんどの歯科大学の学生が学んでいるそうです。午後からは、白石大典氏(神奈川県技)が「口腔内スキャナーに対応したCAD/CAMバーチャル技工」バーチャル咬合器の活用と咬合接触点の与え方,3Dプリンター模型と題し、動画で最新情報を話されました。



吉澤和之氏(東京都技)は「審美補綴に欠かせない歯科医師と歯科技工士の円滑な情報伝達」審美補綴の基礎、機能と調和した形態の捉え方と色調再現を話され、上林健氏(神奈川県技)は「ジルコニアライトレイヤリングテクニックとインプラント補綴のサブジンジバルカントゥアーの与え方」新時代の審美補綴の決め手となるジルコニアによる色調再現テクニックインプラント補綴の基礎技術を話され、自然観で歯科医師も患者も満足するジルコニアを紹介されました。午後4時30分講演会が終了し、会場の外の城彩苑では、観光客で、イベント等があり大変賑わっていました。



支部の活動報告

八代支部

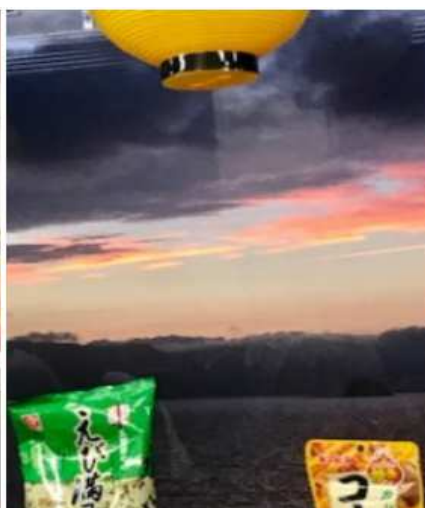
八代歯科技工士会と八代歯科医師会の親睦会

平成29年8月26日(土)

8月26日、八代歯科技工士会と八代歯科医師会の親睦会が行われました。毎年この親睦会は恒例行事で行われており、今年は八代歯科医師会の主催で「肥薩おれんじ鉄道のビール列車」を貸し切って行われました。沿線の風景と八代海に沈む夕日を車窓から眺めながら、冷たい生ビールを皆で楽しく飲みました。八代駅を6時15分に出発し水俣駅を往復、9時に八代駅に帰ってきました。

お酒が入って2時間45分の列車の旅は、技工士会と歯科医師会の親睦を更に深める時間になったと思います。

担当 水本和臣



支部の活動報告

人吉支部

人吉支部活動報告

平成29年9月9日(土)

2017.9.9(土曜日)人吉支部BBQを湯前町の山崎さん宅で行いました。
支部会員も6名と少数ですが、約3年ぶりのBBQとってもアットホームで楽しい時間を過ごす事が出来ました。
今回は、柳本さんのお孫さん(5歳)も参加され、とっても癒やされました。
行き帰りは、球磨川鉄道(田園シンホニー)
地元で居ながら初乗車！！良い記念になりました。
人吉支部も家族のように、何でも話せるお付き合いを、これからも続けて行きたいと思っています。

人吉支部長 豊原貴文

